

# 中西小だより

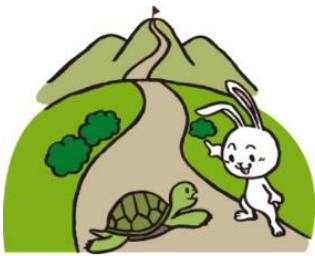
弥富市立十四山西部小学校

学校だより 第13号 令和4年12月7日



## 人権週間

12月4日～10日は人権週間です。本校では12月5日（月）に人権集会を開き、人権についての意識を高めました。校長講話、代表児童の作品の発表と、1年生による「ちがうことばんざい」の詩の発表を行いました。



**【校長講話より】** 皆さん、イソップ物語のウサギとカメの話を知っていますか？ ウサギとカメが、かけっこで、どちらが早くゴールに着くか競走することになりました。スタートから足の速いウサギはどんどん飛ばし、後ろのカメの姿が見えないうらい引き離しました。ここまでくれば一安心と、うさぎは途中で休憩することにしました。そのうちについつい眠ってしまい、その間にカメがウサギを抜かして先にゴールしてしまいました。というお話です。今日は、このお話と違うもう一つのウサギとカメの話をしていきます。

昔々、あるところに、ウサギとカメが仲良く暮らしていました。ある時、どちらからともなくかけっこの競争をしたくなりました。ウサギは自分の足が速いことは知っていましたが、どれだけ速いか比べてみたくなりました。かめは自分の足が遅いことは知っていましたが、どれくらい遅いのか比べてみたことはありませんでした。そこで、ずっと向こうの山のふもとまで競走しようということになりました。「よーいドン」ウサギは、脇目も振らずにどんどん走り、あっという間にゴールし、カメが着くのを待ちました。途中であきらめてしまったのかなと思うくらい遅れてゴールしたカメに、ウサギは「大丈夫？」と声を掛けました。息を切らしたカメが、「ウサギさん、やっぱり速いね。すごいなあ。僕は途中のお地蔵さんのところで苦しくなってやめちゃおうかと思ったけど、お地蔵さんが頑張れって励ましているように思えて走り続けたんだよ。でも、途中のお店屋さんや郵便ポストの所でまたつらくなったんだ。それから何度もやめようと思ったけど、ウサギさんが待っていると思って、ゴールできたんだ。ウサギさんは、一気にここまで走ってきたんだね。本当にすごいや」それを聞いたウサギさんは言いました。「僕、足には自信があったから、ゴール目指して一生懸命走ったんだよ。けど、途中にお店屋さんやお地蔵さんや郵便ポストがあること、まったく気づかなかった。カメさんは、いろいろなものをしっかり見ているし、あきらめずに努力したんだね。かめさんはすごいな」こうしてウサギとカメは、お互いの良い所を認め合い、自分の得意なもの、苦手なものに気づき、自信を持ちながら前よりも仲よく暮らしました。とさ。

自分もお友達も一人一人が違います。それぞれの違いや良さを大切に、互いを思いやり、皆が楽しく幸せに暮らせる社会をつくっていきましょう。

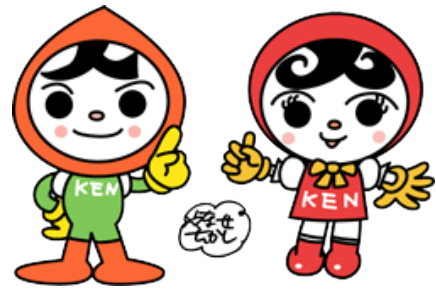
### 【標語】

- 1年 いじめはね 人のこころを いたくする  
やめようね 人がいやがる いじわるを
- 2年 コロナの人を いじめては いけないよ  
ネットは わるいことに つかわないで
- 3年 いじめだめ ひとのこころに やみが出る  
いじめはね 人がいやがる だめなこと
- 4年 差別ダメ 言うだけでなく 行動を  
本当に その言葉を 送っていいの
- 5年 悪口は みんながされて いやなこと  
差別だめ！ 同じ人間 助けあおう
- 6年 うばうより 手を差しのべる 思いやり  
その気持ち 一人でかかえず 相談しよう



## 【作 文】

- 2年 「海しょう高校へのひなんくんれん」  
「えん足のやさしいお姉さん」
- 3年 「福祉実践教室で勉強したこと」  
「福祉について考えたこと」
- 4年 「ぼくのひいおばあちゃん」  
「地いきのために私ができること」
- 5年 「障がい者とのつき合い方」  
「桃色のクレヨン」
- 6年 「保護司さんって知っていますか」  
「初めての福祉体験」



人権イメージキャラクター  
人KEN まもる君・人KEN あゆみちゃん

## 【集会後の子どもたちの感想より】

- 1年  
わたしが、いちばんころにのこったのは、うさぎとかめです。なぜかという、うさぎが、かめさんをまわってあげたからです。これからしたいことは、ともだちをたすけることです。
- 1年  
ころにのこったことは、うさぎとかめのおはなしと、ちがうことばんざい。らいねんになったら、つぎの1ねんせいのことをやさしくする。
- 2年  
たすけてほしい人は毎日たくさん、だからみんなでたすけあうことがたいせつだと思いました。
- 3年  
人権集会で6年生や5年生、4年生のはっぴょうを聞いて、男女さべつや、あの子はしょうがいしゃだからとかで、さべつしたり、かかわらなかつたりすると、その人がかなしんだりするのがわかった。これから、さべつしないで、しょうがいしゃにやさしくしたい。
- 3年  
えらばれた人のひょうごを聞いて、いじめをされている人はいるのかな～？と思いました。これから、いじめをしている人はいないか、いじめをされている人はいないか、などをきちんと見て、いじめをしている人に、だめだよといいたいです。
- 4年  
ぼくは2年生の発表を聞いて、ぼく自身は、下の子たちにやさしくできているかなと思いました。なるべくやさしくしているつもりだけど相手の気もちは分かりません。なので、自分が言われてうれしかったことを言えばいいのかなと考えています。だからこれからは、社会見学などで下級生の子たちと行くときは、やさしくて、いいお手本になれるよう心がけたいです。
- 5年  
人権集会を終えて分かったことは、いじめや差別をしてはいけないということです。いじめや差別をしていないつもりでも、相手はきずついてしまうかのうせいがあるので、私も気をつけたいと思いました。
- 6年  
私が特に心に残っているのは、自分と同性の人を好きになるという話です。前からこういうことがあるのは知っていました。私は町中でそういう人がいても幸せになってほしいと思います。私は一人称が「おれ」だったりして女らしくないので、特に「男女差別」には関心をもっています。いつか、このような人たちが胸を張って生きられるような世界になってほしいです。